

南丹市地域創生会議 会議録

日 時	平成29年6月6日(火) 午後1時30分～午後4時00分
場 所	南丹市役所本庁2号庁舎3階301会議室
出席者	【委員】 <出席> 窪田好男座長、上條正和委員、神田衛委員、長尾康行委員、浪江典人委員、野々口二三男委員、松田育子委員、森田聰委員 <欠席> 俣野健二委員 【事務局】 池田企画政策部部長(地方創生担当)、中川定住・企画戦略課長、塩邊定住・企画戦略課長補佐、下田定住促進係長、高屋主査 ※各事業に対する質疑応答のため所管課から説明員が出席

1. 開会【司会：事務局】

2. 委嘱状交付

3. あいさつ

○松田副市長

市長からのメッセージを預かっておりますので、代読させていただきます。

本日は南丹市地域創生会議を開催いたしましたところ、それぞれご多忙の中、ご出席いただき、また委員の就任にもご快諾を賜りましたことに、心からお礼を申し上げます。さて、南丹市におきましては、地域創生戦略に基づき、定住促進を柱とした、仕事づくりを中心に、人口減少の克服と地域社会の維持発展に向け、1つに仕事の創出、2つに人の流れの増幅、3つには若者の夢の実現、4つに安心して暮らせる地域づくりを実現するための取り組みを推進しているところでございます。具体的には平成27年度から地方創生先行型交付金を活用した取り組みをはじめ、平成28年度は国の地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金を活用し、各種の事業に取り組んで参りました。各年度の事業終了後、客観的な評価検証をいただくため、昨年度に引き続き、南丹市地域創生会議を設置させていただきました。毎年度、PDCAサイクルによる評価検証を行い、必要に応じて事業の見直しを行っていくことが、より実行性のある地域創生戦略につながるものと考えております。

委員の皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。委員の皆様には大変お世話になりますが、どうかそれぞれの立場からご意見を出していただき、実行性があり、

かつ南丹市らしい戦略の推進に向け、ご支援を賜わりますことをお願い申し上げまして、開会にあたりましてのご挨拶といたします。

以上でございます。本日は大変お世話になります、どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員と事務局の紹介。

4. 座長指名

市長（副市長代理）から窪田委員を座長に指名。

○座長

ただいまご指名をいただきました窪田でございます。多くの方は昨年度もお世話になっておりますが、今回もどうぞよろしくお願い申し上げます。

地方創生事業の取り組みは全国的に行われているところでございますが、こういう交付金をたくさん取って熱心に進められているところもあれば、必ずしもそうでないところもあり、熱意や広がりの違いがあると感じております。

そのような中で、南丹市は 28 もの交付金の事業をとられ、熱心に取り組んでおられるというところで、大変素晴らしいと思います。その評価を客観的に、客観的にもいろいろな考え方があると思うのですが、一つは十分な根拠を持つということ、もう一つは特定の立場に囚われないということで評価をしていくことが客観的だということが、評価の研究ではいわれております。そういった客観的な評価によって、過去の取り組みを評価し、今後の取り組みへのヒントを出していくということが非常に重要なことだと思います。

とはいえ、限られた時間ですので、なかなか十分な根拠というのは難しく、特定の立場に囚われないのも心掛けとしては大事ですが難しい面もあります。幸い各方面から委員の皆様に来ていただいておりますので、それぞれの立場からご意見、ご評価をいただきまして、当委員会としてきちんとした評価をしていければと思います。短い時間ですが、どうぞ協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

5. 議事

・地方創生交付金事業検証・評価

○事務局

それでは、座長様、設置条例第 6 条第 1 項の規定によりまして、会議の進行をよろしくお願い申し上げます。

○座長

それでは、16時までを予定しておりますので、早速進めてまいりたいと思います。28もの事業がありますので、一つ一つの事業にかけられる時間はあまりないため、ややせわしない議論になるかもしれません。どうぞご協力をお願い申し上げます。

まずは進め方についてですが、28の事業それぞれについて、自己評価ということで事業評価調書を、委員の皆様におかれましては、それぞれ事前に読んでいただき、有効であったか、どちらかといえば有効であった、どちらともいえない、どちらかといえば有効とはいえない、有効とはいえない、という5段階で評価をいただいています。会議の時間以外にも長時間使って、ご準備いただいたことにお礼を申し上げます。

その結果がこのA4横の資料になっています。①、②、③、④、⑤の各評価に何人の方が付けておられるかが記載されています。順番にひとつひとつの事業について、例えば事業1ならば評価①が4名おられて、評価②が3名、評価③が1名おられるのですが、当委員会としてはどの評価にするのか、何かご意見等があれば、ご発言いただきたいと思います。

また、右側には委員の皆様のご意見を列挙してあります。評価をどれにするかは重要ですが、改めてこの場で他の評価や意見をご覧になって、追加の意見を延べたい、訂正したいということがあれば、ご発言をお願いしたいと思います。

もし事業の内容等にご質問があれば、説明委員として事務局より説明いただけるということですので、質問等があればご発言をお願いします。

では、評価に入りたいと思います。

1. ふるさと農業創生支援事業

○委員

非常に今、農業は難しい時代に入っており、民宿経営をやって、所得を増大するというのではなく、もっと新規就農者を重点的に他所から引っ張っていくことをやっていかないと、地域活性化にとっては効果的ではないと思っております。200万円程度の投資では、それだけの魅力にはつながらないと思います。

○委員

委員のおっしゃるとおりではありますが、農家を元気づける一つの方法として、いわゆる都市部から地域に来ていただく方法の1つとして、今ある農家の資源を有効活用し、ふるさとを活性化しようという目的だと思います。京都府でも振興局で数年前から一緒にやらせていただいております。まさに新規就農者などを農業振興、農業の安定ということでやっています。なかなか成果が出ないのが現実ですけど、南丹市をにぎやかにしていくという意味で、都市部の人にもっと農村部に入ってきていただき、農業を理解してもらって、移住

定住までは行かずとも、促進を図っていくという事業だと思います。

○座長

質問事項として、指標値 13、実績値 11 とのことですが、元々 0 だったものを 13 に増やしたということでしょうか、それとも既にいくつかはあったということでしょうか。

○事務局

平成 27 年度末時点で、すでに農家民宿を行っておられる方は 12 件でございます。そこを基に取り組みを進めていくということで、目標達成を考えていたところです。経過としては、相談しておられて申請手続きまでは多くあったのですが、年度内に届け出をされて開業したのが 1 件、既に開業されていたところをご家庭の事情で休止状態になったというところが 1 件ということで実績値は 11 件となりました。

○座長

まとめ案ということですが、今までのご発言では、評価は②かなと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員

指標値の設定の仕方について、実績値が 12 件であって、目標が 13 件であるから、実際には 1 件減少となり減っているから評価が低いのではなく、農家民宿ですから、規模が小さいながらも事業に取り組まれている所が多くあり、それなりの評価をしてよいと思う。

○座長

指標値に基づいた評価をしているので、暫定的には評価は②にさせていただきます。後の事業の評価の関係で、どうしてもということならば再考させていただきます。

○委員

指標値 13、実績値 11 とありますが、私ははっきり 0 件が 11 件になってすごいと勘違いしておりました。誤解を招くかもしれないので、指標値と実績値については説明をいただけると幸いです。

○座長

指標値の書き方はルールがあるものでもないのですが、この期間に何件増やすというものもあれば、単純に現状値を書いてあるものもあるので、そこで誤解が生じる可能性があるというご指摘です。

2. 創業支援事業

○座長

私自身としては、いきなり 6 時間半の講座をやっても参加者が少なかったのならば、起業の意義や可能性、リスクなどを説明するようなライトなものを先に開催する方がよかったのかなと思いました。

○委員

そもそも参加者が少ないと思います。何かしら対策をしていかないといけないのではと思います。ただ、1 年未満の短い時間では、なんとも評価しづらい部分もあります。

○座長

こういうセミナーを開催するのは一般的な手法ですが、参加者が少なかったのをどう見るかですね。

○委員

創業セミナー終了後、認定の書類などの整備で時間がかかるということを知っています。この地域でされる方、相談される方、開業に結びつく方など、創業にも程度があります。今後、この受けられた方が証明書を使って資金なりを確保しながら、開業に向けて動くことを今後期待するということがあります。

○座長

この事業について、受講者が少ない、短期的な結果が出ていないこともあるが、必要性和有効性は別のことであるので、私も含めて、この事業は必要であるというのが委員の皆様の見解だと思います。ただし、有効かといわれると、今回見た事業の中では結果が出ていない方なので、評価は⑤ということにしたいと思います。

ところで、この評価調書については、分析が空欄となっているので、ご事情はあるでしょうけれども、問題です。しっかりとした分析をお願いします。

3. むら・ひと・しごと創生事業

○座長

費用対効果を考えると問題があるのではないかというご意見もあり、一言ではまとめにくいのですが、いかがでしょうか。

○委員

実績値について詳しい説明をお願いします。

○事務局

KPIについては、事業全体で5件のしごと創出を目指したということです。

○座長

3つのプロジェクトと実績値1の関係について説明をお願いします。

○事務局

森の湯治場について、ヨガを新たに始めていただいたことが実績値1の内容となっております。

○座長

金額が大きいため、目立った成果がないと評価はつけにくいと思います。何らかの形で次につながりそうとか、実績があるのであれば、一定以上は有効であったということにしてもよいとは思いますが、いかがでしょうか。

○委員

具体的に1,500万円はどのように使用されたのでしょうか。

○事務局

森の湯治場は300万円、ひよし龍の森プロジェクトが200万円、みやまワーキングステイが300万円の交付となっております。残りはその他のプロジェクトなどに充てております。

○座長

こういったことが新たな仕事につながるのであれば、②か①の評価をしてもよいと思います。

○委員

結果が1年と早い段階で出てくるものではないですが、どちらでもないという評価をして、まだ結果が出てないという評価をすることで、そうすれば職員の皆様が頑張るという流れになればいいなと思います。

○座長

この事業については顕著な成果が出てはいないですが、一定効果はあるので、評価は②にさせていただきます。

4. 南丹市販路開拓支援事業

○座長

7名の方の評価が①となっているので、評価は①にさせていただきます。

5. Uターン就職等支援事業

○委員

一番大事な就職者数が0なので、これではどちらともいえないかなと思います。

○事務局

就職者数については、参加いただいた事業者様に対する事業効果についてのアンケート調査を予定しているのですが、平成29年4月は事業者様が多忙というところで間を開けて調査をするということですが、今回の委員会には間に合わず、申し訳ございません。早急に行っていくということでもよろしくお願いいたします。

○座長

就職者数については調査中というところですが、評価は①か②かだと思います。いかがでしょう。

○委員

就職者数は調査中ということですので、追跡調査をしていただき、確認をお願いします。個人的には有効だったかと思います。

○座長

それでは、①の評価の方が多く、評価は①とさせていただきます。

6. 定住促進サポート事業

○座長

①が多いということで、評価は①とさせていただきます。

7. 森の京都シティプロモーション事業

○座長

目標を超えています、移住相談件数が指標ですので、本当にこの事業のおかげかどうかは精査する必要があります。

○委員

評価は①でよいと思いますが、指標が相談件数というのはいかがかと思います。検討のほど、よろしくお願いします

○委員

相談件数は超えているのですが、そこから先が進まない、やはりコーディネーターといえますか、いろいろなことを知っている方がおられれば進むのかなと思います。ただ、事業としては良いと思います。

○座長

この委員会としては KPI を中心に評価するのは変わらないですが、肝心の数値をなるべく評価票に書いておいてほしいということを指摘して、評価は①にさせていただきます。

8. 観光イベント振興事業

○座長

恒例のイベントということですが、今回の交付金が入ってイベント規模が拡大したのか、それとも毎年同程度の予算なのでしょうか。

○事務局

交付金により規模が大きくなったわけではなく、内訳の半分が交付金になったということです。

○委員

この交付金によって実績値が増えたかがわかりにくいのですが、指標達成はして

いるのでよかったとは思いますが、前年度の数字がわかれば説明をお願いします。

○事務局

指標値については数年前に決まって出されていた数字です。実績値の観光入込客数は前年度が 191 万人です。外国人観光客の宿泊者数はすぐに数字は出せませんが、増えてはいます。

○座長

各イベントの前年度比の人数も把握できれば評価しやすくなります。評価は①か②にすることとして、数字が見つければ教えていただき、それで判断をするということにします。

9. 観光宣伝事業（地方創生推進交付金事業）

○座長

④の評価もありますが、①が多いので、評価は①とさせていただきます。

10. 観光宣伝事業（地方創生加速化交付金事業）

○座長

事業費の費用対効果を考えるべきではないか、こういった事業で新たな集約事業を立案し、効果的な活用をお願いしたいというご意見を受け止めていただきたいです。

○委員

看板設置について、外国人が日本にすごく来ていらっしゃいます。京都までは来られるのですが、そこから亀岡市を超えて南丹市、そして美山に来ていただくことが課題だと認識しているのです。

しかし、看板の設置場所が JR 日吉駅とスプリングスひよしは分かるのですが、八木支所に設置している理由について説明をお願いします。

○事務局

八木支所の前に観光看板があることと、八木支所に観光協会が入っておりますので、設置させていただきました。また、八木駅前には多言語看板ではないですが、看板を作成いただいておりますので、せっかくなのでということで八木支所に設置しております。

○委員

看板とは直接関係ないかもしれませんが、外国人の方はかやぶきの里に市営バスを利用して来られるのですが、バス関係がわかりにくくなっています。バス内に案内の表示やテロップがあると非常に良いのではないのでしょうか。

○座長

それでは、評価は①とさせていただきます。

事務局への要望として、調書をどこまで詳しくするのは難しい部分もあるのですが、初めて見る委員の顔を思い浮かべて、すぐに答えられるような疑問については、あらかじめ調書に記載していただくと幸いです。

11. 観光協会事業

○座長

交付金によって新たな取り組みにつながったということなののでしょうか。

○事務局

一部増額し、事業を実施しています。

○座長

評価は①が多いので、①とさせていただきます。

12. 観光動態調査事業

○座長

データの収集、分析とありますが、何らかの形で既にまとまっているのでしょうか、今後まとめられるのでしょうか。

○事務局

事業者の方から報告書が提出されており、次年度のイベントを企画する際に参考とさせていただきます。

○座長

①の評価が多く、評価は①とさせていただきます。

13. 観光拠点整備事業

○座長

評価は②とさせていただきます。

14. 山陰本線南丹市広告宣伝事業

○座長

この1年間でJRの利用者数は増えたのかどうか、可能であれば説明をお願いします。

○事務局

JRの利用客数ですが、平成28年度分は出ていないということで、申し訳ありませんがご報告できません。

○座長

利用者数は一定増えていると考えれば、評価は①が多いので①とさせていただきます。

15. 各種イベント等開催事業

○座長

ひよし水の杜フェスタは中止となったが、事業費は支出されているということです。

私は評価を④にしたのですが、イベントは気象の影響は受けるものであり、やむを得ないのはわかるのですが、気象の影響で開催できないかもしれないイベントに、これだけの予算を投入したことを考えると、良くて②とは思いますが、いかがでしょう。

○委員

美山ふるさと祭りは開催され、成果が出ているものであると考えます。

○座長

事業として一つのものとして考えるべきものであるので、評価は②とさせていただきます。

16. スポーツ拠点づくり推進事業

○座長

評価は効果的であるとする①が多いので、①とさせていただきます。

17. 産前・産後サポート事業

○委員

子育て支援というのは、昔、私の妻が周りに相談相手がいないということで、子育てに不安があったのですが、子育て支援の場所がありまして、そこに行く知らない子育てのお母さんたちがいて安心したということで、他の地域でもIターン者は子育ての相談が多いと思います。

やはり、子育てに安心できる地域だということはアピールできるポイントだと思いますし、虐待の事件などをみると、父親や母親が悪いということは簡単ですが、相談できなかったことが原因のケースは少なくないと思います。こういう事業は子育てに効果があるのではないかと思います。

○委員

この事業は重要だと思っています。産前・産後サポートですが、入院中に何を持っていけばわからないとか、赤ちゃんができて引越ししてきてけれど相談相手がいないとか、夜泣きで寝られないとか悩みは多いでしょう。意外と京都市ではこの手のサポートは充実しているの、南丹市でも増やしていくことが大事だと思います。

○委員

この事業は地方創生関連の交付金で新たに始まった事業なのか、それともこれまでやってきたものなのでしょうか。

○座長

戦略に基づく事業には、従来よりやってきたものが多く含まれていると思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

産前・産後サポート事業については、国の法律改正を受けて、全国的に展開され始めている事業になります。南丹市としては事業実施を検討していた時に交付金があり、事業

を実施したものです。

○委員

京都府では産後うつ対策を2年前から始められていて、なかなかここまで手を出せなかった。経済的支援は京都府下でも南丹市は突出しているのですが、こういう産前・産後サポート事業は今後重要となると思います。本格的な実施はこれからだと思いますので、積極的に推進していただきたい。

○座長

指標値は達成できていないですが、重要な事業であるので、評価は②とさせていただきます。

18. 食育推進事業

○座長

KPI とのつながりがうすいので、この事業単体で見れば、どういうことができれば成果だとお考えだったのか、手応えなどはどうだったのか、説明をお願いします。

○事務局

子育て世代の方が共働きなどで、調理力など家庭の中で伝承されるべきものが子どもにされていないということで、子どもたちに学校の方で直接引き上げていこうということで実施しました。調理力などは子どもの生きる力につながっていくものであるということで、調理実習などの支援を行いました。これによりまして、保護者の評価が大きく、保護者の方が「子どもが買い物から後片付けも含めて弁当づくりができると思いますか」という問いに、事業実施前は23%だったのが63%になったと保護者アンケートで出ています。食生活改善推進員も来年度も引き続き、頑張っていきたいとのことでした。

○委員

今の説明と KPI の女性起業者数がマッチングしないので評価が難しいです。

○委員

高くは評価している点は地域で採れた野菜を使っていること、その地域の野菜、特産品で一つ話が咲いたということで、できましたら各学校、地域で特色のある野菜を使っていた方がよいのではないかと思いますし、拡大していただけたらと思います。

○委員

小学校では、切れ干し大根や梅干しを作ったという話も聞いたので、広げていただきたいと思います。

○座長

この取り組みを広げてほしいという意見もあり、評価の多くが②となっているので、評価は②とさせていただきます。

19. 実践型人材育成事業【新商品開発】

○座長

もし説明できるのであれば、実施状況や今後についてお願いできますか。

○事務局

実施状況での記載どおりですが、道の駅の新商品開発にある程度主眼を置いて、取り組みをさせていただいたところですが。参加者のうち、2名については農産物の加工・販売につなげていただいたということで、指標達成はできなかったのですが、一定の成果は出ているので続けていきたいとは考えております。

○委員

創業支援について、起業されるのは時間も手間もかかるのに、10月から3月の間で2人もいることは凄いことだと思っています。継続されることが大切であり、長い目で見ることがありますので、評価したいと思います。

○座長

評価の多くは②となっているので、②とさせていただきます。ただし、厳しい意見も多いので、しっかりと受け止めていただきたいと思います。

20. 実践型人材育成事業【観光コンシェルジュ】

○座長

女性起業家数とは、美山の観光とは直接関係はないということでしょうか。

○事務局

二つの事業を予算の都合上、一つの事業としておりましたので、少し観光と人材で分けておりますが、指標は同じになっています。

○座長

KPI の設定によっては、評価が高くなるかもしれませんが、評価は一番多い②とさせていただきます。

21. 小学校跡施設利活用推進事業

○座長

①の評価が多く、廃校舎の利用ということで実績値も指標値の 2 倍となっているので、根本的に見直すべきというご意見もありますが、評価は①とさせていただきます。

22. 障害者就労支援ネットワーク運営事業

○座長

KPI も達成されており、事業効果を上げているという意見もあり、評価は①が多いので、①とさせていただきます。

23. 障害者団体活動支援事業

○座長

評価は①が多いので、①とさせていただきます。

24. 特別支援教育推進事業

○座長

今回、交付金を得て、15 名の方を雇用できたのはいいのですが、交付金は今年度のみということでしょうけれども、今後は市の負担で継続していくのでしょうか。

○事務局

今後も必要な支援を続けていきたいと考えています。人数は必要に応じて変動します。

○座長

それでは、評価は①とさせていただきます。

25. 間伐材出材奨励事業

○座長

この補助のおかげで間伐材がどれだけ出材されたか、説明をお願いします。

○事務局

この事業により、というところまでは確認ができかねております。

○委員

26,729 m³の間伐材の搬出がどういう状況なのか、より詳しい状況があると評価しやすいです。

○事務局

3か年の出材状況では、南丹市全体で平成26年度は21,232 m³、平成27年度は21,700 m³、平成28年度は26,729 m³となっています。

○座長

間伐材を輸送するコストはどれくらいでしょうか。

○事務局

搬出する距離に応じて変わってくるところはあるかと思いますが、明確なお答えはできかねますが、南丹市内の場合もあれば市外の場合もあります。

○座長

補助があれば間伐しようということになるのかどうかで本来は有効性を評価すべきですが、そこまでの情報はない状況での評価となると、KPIの指標値は超えているので、評価は①とさせていただきます。

26. 森の京都観光事業

○座長

厳しい意見としては、森の京都に直結した取り組みが必要という意見もありますが、評価は①が多いので、①とさせていただきます。

27. 森の京都推進事業（地方創生推進交付金事業）

○座長

評価は①が多いので、①とさせていただきます。

28. 森の京都推進事業（地方創生加速化交付金事業）

○座長

評価は①が多いので、①とさせていただきます。

○座長

これで一巡いたしましたので、一通り確認した後、全体的なご意見があればいただくこととします。

事業1が②、2が⑤、3が②、4が①、5が①、6が①、7が①、8が①か②で悩んでいるということです。

○事務局

各イベントの人数についてですが、花火大会は平成26年が90,000人、平成27年は80,000人となっています。夏祭りは平成26年が5,000人、平成27年は5,500人。鮎まつりは平成26年が2,500人、平成27年は2,000人となっています。

○座長

そういう意味では交付金のおかげで激増したというわけではないということですが、指標等の関係で評価してきたので、評価は①が多いので、①とさせていただきます。

事業8が①、9が①、10が①、11が①、12が①、13が②、14が①、15が②、16が①、17が②、18が②、19が②、20が②、21が①、22が①、23が①、24が①、25が①、26が①、27が①、28が①ということになります。

○事務局

事業 13 について、利用者数は平成 25 年度は 4,969 人、平成 26 年度は 4,594 人、平成 27 年度は 4,385 人、平成 28 年度の利用者は 10,674 人と一気に増えているのですが、実は平成 26 年度に指定管理者が変更になりまして、平成 26 年 12 月から平成 27 年 3 月まで休業してリニューアルしまして、結果、平成 28 年度は一気に利用者数が上昇したということです。

○座長

ありがとうございました。閉会の時間が近づきましたか、せっかくなので委員の皆様から全体について、ひと言ずついただければと思います。

この会議については全体的な戦略の推進状況を見て、考えていくという会が来月か再来月の頭に予定されています。そこでまた全体的な評価ですとか、ご意見、アイデアなどを頂戴したいと思うのですが、今日の会を振り返って、いかがだったでしょうか。

○委員

数値目標の設定が難しい事業があるのは理解しておりますが、ある程度は事業効果がわかりやすく把握できるように努めていただきたいと思います。数字が出るのは数か月後などに遅れるのはわかるのですが、もう 6 月ですので、統計で出ない部分もあるかと思いますが、ご尽力いただきたいと思います。

○委員

同じように、指標値の設定がこれでいいのかなと思うことが多くありました。

また、事業費とのバランスも見ていたので、そうするとほとんどが①と②でありながら、2 の創業支援だけが⑤というのは、少しこの事業費だけではこれだけの内容かというところはあります。

○委員

はたしてこれを実績値にしているよいかと悩んだ部分があったのですが、やっぱりその部分をわかりやすくしてもらいたいです。

また、事業すべてが地方創生に関連しているので、事業単体での数値達成は必要ですけど、将来的にどのようなまちになっていくのか、事業間の連携や、将来的にどう効果を生み出していくのかを踏まえて、大変ですけども取り組んでいただきたいと思います。

○委員

評価をするのは非常に難しく、1 年ごとの評価になりますので、その後、効果が出てきたという部分も考えながら評価していくものではありませんが、やはり難しいと思います。そ

の中で、意見を出していったかとは思いますが。

○委員

事業はやはり単体で、縦の事業実施なのかなというところで、これとこれがつながれば2.5でも3でも生まれますよと、横につながるような事業になれば、なお良いかなという希望でございます。創業や新商品の創出など、同じような事業がありましたので、横のつながりで一つにまとめられて、いいものがないのかなという意見でございます。

○委員

何事も数字で表さなければならぬのが難しい問題と思いました。少子化がますます進むので、子どもなどを大切にしたい事業により多くのお金を使えるような政策にしてほしいなと思えます。

○委員

農業再生協議会の中でも、どこの集落に行っても農業をやっているのはもう4、5年以内には卒業するという人たちばかりです。農業再生協議会は人も金もない中で取り組んでいかなければならないのですが、南丹市の地域は農家、農村が多く何とか後継者や新規就農者を増やす策を早急に考えなければならぬという段階に来ています。県によっては手厚い支援で新規就農者が増えているというところもあります。私も大変厳しいことを申しませんが、いろいろと事業をやっておられますが、どれだけ移住定住に効果が出たか。もっと直接増やせるような事業を集中してやっていただきたい。今回見た事業はこれまでやってきたものや上積みしたものが多い。厳しいことを言いますが、こういった事業だけでは人口増にはつながらないと考えています。直接もっと農家、農村資源に対して交付金を利用して、うまくやっていただきますことを強くお願いしておきます。

○座長

ご協力いただきまして、ありがとうございました。改めて、多くの委員の方がおっしゃっていただいたとおり、KPI という枠だけで事業を評価するには無理があるかと思えます。やはり事業ごとに指標を設定するべきであります。評価制度の課題として指摘させていただきます。

また、地方創生戦略を進めるにあたり、各界の皆様からご意見をいただくということで、今回のように事後評価だけではなく、できれば事業案作成の際にも意見を求められたら、よりよい結果を残せたのではと思えました。

全国的にみても、28もの交付金を取られてやられているというのは相当多い部類かなと思えます。全体としては、皆様のお力添えをいただき、良い評価ができたと思えます。

次回は全体的な戦略の数値や進捗状況を教えていただきながら、全体の評価と今後のご

示唆をいただくという会を予定しておりますので、そちらでもご意見をいただけたらと思います。いろいろとつたない運営で申し訳ありませんでしたが、皆様のご協力のおかげで、終えることができました。お礼申し上げます。

6. その他

○事務局

ありがとうございました。もう一度、全体的なところでお世話になりたいというところで、7月下旬から8月上旬を予定しておりますので、またご案内させていただきます。

○座長

その時の流れについて、説明をお願いできますか。

○事務局

今回は交付金を使わずとも地方創生につながる事業について、評価をいただきたいなと思います。それと戦略そのものの方向性など、ご意見を頂戴したいと考えています。

○座長

今回の会議では、事前の作業などはなく、資料を事前に確認し会議に出席するということでしょうか。

○事務局

できるだけ早い段階で、事前に資料を送付させていただきたいと考えております。

7. 閉会

○座長

では、次回もお世話になりますがどうぞよろしくお願ひいたします。

これにて閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。